



【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名：秋田県バスケットボール協会	
場所：ニツ井総合体育館(Dコート)	記入者：藤原 寿準	
チームA 桜の聖母 (福島2位)	13-13 10-22 24-14 11-10	チームB 弘大附属 (青森2位)

スターター	チームA： #4, #5, #6, #7, #8
	チームB： #4, #6, #7, #9, #10
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

第1ピリオド、桜の聖母はマンツーマン、弘大附属はオールコートマンツーマンディフェンスでスタート。弘大附属は、速攻からの#9田代のレイアップや#4竹浪のドライブなどで加点。桜の聖母は、インサイドにボールを集めるも弘前大附属の厳しいディフェンスに得点できずにいたが、#6関口や#4白石のスリーポイントシュートで応戦。第1ピリオドは弘大附属13-13桜の聖母の同点で終了。

第2ピリオド、早々、桜の聖母は、#5高橋のジャンプシュートや速攻からの#7吉田のレイアップでリードし、7分21秒で弘大附属は前半最初のタイムアウト。タイムアウト後、弘大附属は#4竹浪のドライブなどで応戦するも、桜の聖母の厳しいディフェンスにうまく攻められない場面が続く。残り4分6秒、弘大附属は2回目のタイムアウト。ディフェンスを2-2-1オールコートディフェンスに変えた弘大附属は、スティールからの#7一戸のレイアップなどで3点差まで差を縮めた。残り2分45秒で桜の聖母のタイムアウト。一進一退の攻防が続いたが、終盤は、桜の聖母が#6関口と#7吉田の3連続スリーポイントでリードを広げ、弘大附属23-35桜の聖母と桜の聖母が12点リードで終了。

第3ピリオド、両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。弘大附属は、#7一戸のスリーポイントシュートやセンター#4竹浪のリバウンドからのシュートなどで加点。桜の聖母は、#7吉田や#9梅宮のスリーポイントシュートで応戦するも、弘大附属が#9田代のスリーポイントや#4竹浪のリバウンドからのシュートが連続で決まるなど差を縮め、弘大附属47-49桜の聖母で第3ピリオドは終了。

第4ピリオド、弘大附属は、#7一戸のスリーポイントシュートなどで逆転するも、桜の聖母も#5高橋のドライブなどで再逆転など一進一退の攻防が続いた。桜の聖母は3分10秒で後半最初のタイムアウト。弘大附属がスティールからの#6水田のフォローアップシュートで、逆転。その後、桜の聖母も#6関口のカットインで逆転に成功したが、残り50秒を切ったところで、弘大附属#10福田がリバウンドからのシュートを決め、再逆転。終了間際の桜の聖母の猛攻を振り切り、弘大附属59-58桜の聖母で終了。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。